



2025年10月10日

各 位

会 社 名 北雄ラッキー株式会社
代表者名 代表取締役社長 桐生 宇優
(コード:2747、東証スタンダード・札証)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長兼管理部長
高橋 徹
(TEL. 011-558-7000)

2026年2月期中間会計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年4月11日に公表いたしました2026年2月期中間会計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期中間会計期間業績予想と実績値との差異(2025年3月1日~2025年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,800	196	182	120	94.94
今回実績値(B)	18,483	57	47	22	17.67
増減額(B-A)	△316	△138	△134	△97	—
増減率(%)	△1.7	△70.9	△74.0	△81.4	—
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	18,140	29	0	19	15.24

2. 差異の理由

2026年2月期の中間会計期間の業績につきまして、売上高は物価高騰の継続による節約志向の高まりやお客様のお買回りの頻度の増加等の影響もあり、買上げ点数が減少した一方で、客単価は増加基調となりましたが、来店客数の減少等の要因により、特に生鮮部門、惣菜部門が計画値を下回りました。営業総利益は、食肉や水産品および米を中心とした相場高騰の影響を受け、高利益率部門である精肉部門が荒利益率の確保に向けた対応ができていなかったこと、同じく惣菜部門では、ラッキー・生鮮デリカセンターにおける原材料費の上昇分を吸収できなかったこと等の要因もあり、計画値を達成できなかった結果、発表予想値を下回っております。販売費及び一般管理費は、主に人件費の低減により、前期を下回ることにはなりましたが、営業総利益の減少を補うには至りませんでした。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

※上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上